

第49回カレッジ川柳会月報

第四十九回カレッジ川柳会月報(六月例会結果報告)

日時 .. 令和三年六月二十三日(水) 午後一時~四時

場所 .. 美浜公民館・第一会議室

講師 .. 佐藤公江(千葉県川柳作家連盟理事)

出席者 .. (順不同・敬称略) 大柳シオン(新会員、

萱野澄彥、清田アキラ、谷口勝、豊田桃花、

松谷のん紀、山岸順、山口昇柳、黒崎与三坊

課題「汗」互選句 佐藤 公江 講評

1点朝顔に涼しい汗の滴つく

血と汗の結晶である参加賞

梅雨晴れ間汗かき妻の骨になる

クールな目マスクの中は玉の汗

葛西橋汗かかぬ手がテープ切る

バスと走り念いりメイク崩れ去り

ぐっすり寝ずっぷり汗も作りたて

海馬では言葉が出ない汗ばかり

うっちゃりに手に汗握る大相撲

梅雨晴れ間ホール・イン・ワン汗ゴルフ

2点日が昇る汗ばみ換気ワクチン喜

アスリート流した汗は裏切らぬ

ボランティア流れる汗を感謝され

国会に呼ばれ官僚あぶら汗

アキラ

与三坊

昇柳

与三坊

昇柳

桃花

昇柳

慧姑

アキラ

昇柳

昇柳

順

順

勝

汗ばむ陽余裕の扇子美しく

3点若き日の汗染み残る柔道着

汗っかき化粧手抜きの免罪符

炎天下 汗と涙の甲子園

衣替え脇が変色地図もどき

一瞬で決め汗も出ぬ勝ち名乗り

ボランティア流した汗に明日の夢

4点ロボットの汗は見せない仕事振り

6点したたるは汗か涙か夏の通夜

課題「汗」 佐藤 公江 選

「客」富士登山ほつれ毛首にへばりつく

アスリート流した汗は裏切らぬ

一瞬で決め汗も出ぬ勝ち名乗り

初めてのフォークダンスに滲む汗

したたるは汗か涙か夏の通夜

「人」能面ののみ削る手に父の汗

「地」若き日の汗染み残る柔道着

「天」ロボットの汗は見せない仕事振り

「講師の句」

振り向けばただほろにがい汗ばかり

船頭さんだけが汗かく川下り

脂汗流し新婦が産気づく

桃花

勝

シオン

与三坊

澄彥

与三坊

のん紀

順

シオン

勝

順

与三坊

のん紀

のん紀

シオン

のん紀

勝

順

公江

公江

公江

公江

公江

第49回カレッジ川柳会月報

課題「律儀」二人選 黒崎 与三坊 選

「秀」会話よし五文字七文字駄目な僕

晩酌は熱燗一本至福どき

良心に恥じない様に生まれ生き

倍返し留守を預かり土産品

義理がたいまじめな人で老化早や

リタイア後元部下からの地元酒

いつも来る中元来ない友案じ

天気予報固く信じてフル装備

出されたもの残らず食べて肥満体

政治家にほんとは欲しい律義者

「客」

大臣を守り嘘つく宮仕え

挨拶へ向う三軒両隣

自己紹介律儀なだけ取り柄です

もう死語か律儀な人の子だくさん

交番へ5円届ける小学生

「人」

のれん分け親方の味守る弟子

「地」

宣言があけるまで待つスニーカー

「天」

人生を生き証の楷書体

アキラ

澄 彗

昇 柳

慧 姑

昇 柳

のん紀

勝

桃 花

順

シオン

勝

のん紀

アキラ

シオン

桃 花

のん紀

順

慧 姑

「自句」

早起きし一家の朝餉作るオレ

義理堅さ血液型と無関係

後ろから拾って歩く犬のフン

課題「律儀」二人選 佐藤 公江 選

「客」

政治家にほんとは欲しい律義者

天気予報固く信じてフル装備

大臣を守り嘘つく宮仕え

もう死語か律儀な人の子だくさん

のれん分け親方の味守る弟子

「人」

宣言があけるまで待つスニーカー

「地」

人生を生き証の楷書体

「天」

まつとうに生きて友達寄りつかず

与三坊

与三坊

与三坊

シオン

桃 花

勝

シオン

のん紀

順

慧 姑

順

第49回カレッジ川柳会月報

自由吟 佐藤 公江 選

「秀」

下積みの時を忘れず偉ぶらぬ
 老いの恋待てば海路の日より無く
 ワクチンの副反応もでない齡
 血流の低下加齡の冷えた足
 夏の空水鉄砲で迎え撃つ

与三坊
 シオン
 与三坊
 勝
 アキラ

「客」

激辛を汗と涙で食うカレー
 長針に合わせて暮らす定年後
 五輪実施不安の中のおもてなし
 雨似合う紫陽花だって晴れが好き
 すぐ負けを認めるパパの二枚舌

与三坊
 順
 澄 魚
 澄 魚
 順

「人」

出掛けたいストレス壁に八つ当たり
 「地」
 我先に老若男女腕まくり

勝
 順

「天」

相槌を打つのが巧い聞き上手

与三坊

* * *

※ 川柳とは

ズバリ斬る
 ホロリ泣かせる
 チクリ刺す
 ニンマリ笑う
 ポンと膝打つ

お知らせ

次回令和三年七月例会予定

日時…七月二十八日(水) 午後一時～四時

場所…美浜公民館・第一会議室

① 互選 課題「やっぱり」三句以上

② 二人選 課題「分ける」三句以上(順選・公江選)

※①と②を七月二十四日までに事務局あて投句を
 お願いいたします。

締め切り期限の厳守をお願いします。遅れは没です。

③「自由吟」三句以上(佐藤公江選)

※例会当日に句箋で投句願います。

~~~~~